

放課後児童クラブの運営方法を答申

放課後児童クラブのあり方検討委員会答申

10月3日、放課後児童クラブのあり方検討委員会は、委員会の審議結果をまとめ、町に答申しました。

答申内容は、保護者の負担軽減、町の財政健全化・職員数の適正化を図る中で実現可能と思われる「NPO法人」、「社会福祉法人」、「運営委員会(統一組織型)」、「民間事業者」を基本とし、クラブの意向も踏まえた運営方法に移行することが望ましいというもの。今吉光弘会長はこの答申に加えて、運営に課題が発生した場合は都度対応を検討することなど4つの付帯意見を提言しました。



西村町長に答申する今吉会長



老若男女誰でも楽しめます(写真は校区体協の部)

シンプルだけど奥深いニュースポーツ

第3回益城町ナイターモルック大会

10月5日、第3回益城町ナイターモルック大会が町民グラウンドで開催されました。

町スポーツ推進委員会が主催するこの大会も今年で3回目。一般の部には17チーム、新設された校区体協の部には4チームが参加し、熱戦が繰り広げられました。

モルックは、点数の書かれた棒(スキットル)を狙って木の棒(モルック)を投げるだけの簡単なルールのスポーツです。体力に自信がない人でも気軽に楽しめます。来年も開催予定ですので、ぜひ体験してみてください。

23団体 それぞれの色光る活動発表

令和6年度まちサポフェスタ

令和6年度まちサポフェスタが10月13日、交流情報センターミナテラスで開催されました。

これは、町まちづくり活動支援センター(まちサポ)登録団体が日頃の活動の発表を行うイベントで、今回は11団体がステージパフォーマンスを、12団体が活動内容展示を行いました。

屋外ではノルディックウォークや、「もやい市」による農産物の販売なども行われ、年に1度のまちづくりの祭典は多くの人でにぎわいました。



㊦多彩な展示 ㊦初参加「太極柔力球ひまわり」のステージ

Pickup Plus+
今月のプラス



知的障がいのあるアスリートたちのスポーツ競技会「2024 スペシャルオリンピックス日本九州・沖縄ブロック大会 in 熊本」が10月12日・13日の2日間にわたり、町総合体育館・陸上競技場で開催されました。

九州・沖縄8県から約200人の選手たちが参加。陸上・バスケットボール・卓球の3競技で白熱した試合が交わされました。